

沖縄だより

<http://okinawa-branch.com/>

No. 96

2019年12月9日

【発行】平和フォーラム沖縄事務所

tel/fax:0980-43-0740

mail:peaceforum.okinawa@gmail.com

安和海上大行動、浜で大集会

沖縄県名護市安和の琉球セメント栈橋で、違法な埋め立て用土砂の搬入がはじまってから12月3日で1年となりました。この日にあわせてヘリ基地反対協とオール沖縄会議の共催による大行動が開催されました。

海と陸で土砂運搬阻止行動

陸での抗議には約180人が集まり、約100人の機動隊と50人の民間警備員と対峙。暴力的な規制に屈することなく午前7時半ごろからダンプの運行を一分一秒でも遅らせるために、午前中だけで4時間の抵抗・阻止行動を展開しました。

本部方面から進行してきたダンプは国道の一車線を占拠して常時40台が並び、栈橋入り口の信号まで到達するのに約40分かかりました。運転手のイライラも募って、栈橋入り口では乱暴な運転で抗議参加者が後輪に巻き込まれ、命にかかわる重大事故が発生するのではと緊張が続きました。

GO・GOドライブに参加した仲間たちは栈橋出口からダンプを出さない戦術により栈橋内に30分以上止め置かれる状態を作り出しています。このような抵抗によりダンプ一台が一回の搬入に60分かかっています。

海上のカヌーチームはこの日は66艇、ボートは3艇が参加して、辺野古に運び込むための運搬船を実力で岸壁から離岸させない行動を展開しました。なにしろ辺野古・大浦湾では、我々の行動を阻止するためフロートを設置していますが、ここ安和の海ではそんなことができないために、運搬船にへばりつく戦術で2～3時間も離岸させない大きな成果をあげています。

陸でも海でもこのような激しい闘いが1年間も継続されている沖縄県民に敬意を表したいと思います。

なぜこのような長く激しい抵抗をするのか、テレビ・新聞のインタビューでは次のように紹介されています。

「安倍政権が民意を無視して、沖縄に基地負担をさらに強めていることに抗議する」

「ふるさとの土砂を戦争のために使ってほしくない」

「基地建設に無駄な税金をつぎ込まないで福祉に予算を回せ」

「戦争につながる基地のために自然を破壊するな」

県民の怒りはおさまるところか、新基地建設がストップするまで行動も続けられていくことでしょう。

国は違法な土砂運搬をやめろ！

琉球セメント栈橋を使用しての土砂搬入・運搬は、いかに違法であるかが琉球新報12月4日付で報道されています。

「防衛局が土砂搬出を本部港塩川地区と名護市安和の琉球セメント栈橋を使用している。これは承認申請書の記載内容とは異なる」

「土砂の採取場所として指定している『本部地区』の範囲を越えて本部町は名護市に広げている」

このような違法がまかり通っておることに怒りがこみ上げてきます。

安和栈橋入り口に来れば、ダンプが搬入している土砂が「赤土」であることは紛れもない事実であることがわかります。この事実を確かめるために野党の国会議員が調査に来た時は、防衛局は国会議員が移動するまでダンプの運行を止めたこともありました。

最近においては赤土を積んだダンプと白岩まじりの土砂を運搬するダンプが、栈橋内に入り赤土を隠すために重機で混ぜ合わせています。赤土防止条例に違反する事案が国の行為で行われているのです。

違法な工事は今すぐやめろ！戦争につながる工事、自然を破壊する工事は許さない！沖縄県民の命を奪う新基地建設を止めるまで、全国のみなさん、一人でも多く沖縄の現地闘争に参加して下さい。